

# 「いまあるギャンブル依存症を根絶する手だてもとらない ままカジノを解禁しようというのか」 参院決算委・大門実紀史議員

## カジノの合法化法案を告発

日本共産党の大門実紀史議員は、4月28日の参院決算委員会で、刑法が禁じる賭博場・カジノを合法化しようとする動きを強く批判、諸外国と日本のギャンブル依存症について比較研究した厚生労働省の資料を提示し、「日本は世界でも最悪のギャンブル依存症大国。カジノを解禁して依存症を増やすなどんでもないことだ」と追及しました。カジノ議連の「最高顧問」として、安倍首相らとともに役員名簿に名前が記載されていると大門議員に指摘された麻生金融担当相は、「最高顧問を辞するべく議連事務局に申し入れている」と答えました。

諸外国におけるギャンブル依存症(病的賭博)の有病率  
(佐藤拓の報告を一部改変)

国	調査数(N)	調査年齢	生涯有病率 (スコア5以上)	引用文献
アメリカ	1,000	18~	1.4%	Volberg 他 '88
カナダ	3,120	18~	1.3%	Ferris 他 '01
イギリス	7,770	16~	0.8%	Sproston 他 '00
スペイン	1,615	18~	1.7%	Becona 他 '96
スイス	2,526	18~	0.8%	Bondli 他 '00
スウェーデン	7,139	15~74	1.2%	Jonsson 他 '06
ノルウェー	5,235	-	0.3%	同上
フィンランド	5,013	15~	1.5%	同上
オーストラリア	10,600	18~	2.1%	委員会報告 '99
ニュージーランド	6,452	18~	1.0%	Abbott 他 '00

  

国	調査数(N)	調査年齢	ギャンブル依存(病的賭博)
日本	7,500 (有効回答4,123)	20~	男性 9.6% 女性 1.6%



参院決算委で政府を追及する大門議員  
= 4月28日

### 大門議員

法務省に伺いますけれども、なぜ刑法でカジノ、賭博場は禁じられているのか、改めて説明してください。

### 政府参考人

賭博行為は、勤労その他正当な原因によらず、単なる偶然的事情により財物を獲得しようとして他人と争うものであり、国民の射幸心を助長し、勤労の美風を害するばかりでなく、副次的な犯罪を誘発し、さらに国民経済の機能に重大な障害を与える恐れがあることから、これを社会の風俗を害する行為として処罰することとされているものです。

### 大門議員

「国民の射幸心を助長する、勤労の美風を害する」。これギャンブル依存症を増やすということなんですね。カジノ推進派の人たちはそういう弊害をなくす対策を取ると言います。対策が取れるようなものでないから刑法で禁じられている重い意味があるわけです。最高裁判決でもそう言われている。

推進派の人たちは、「世界の国々でカジノはほとんどある、日本だけないからいいじゃないか」と言うけれど、日本にはすでにギャンブル産業としてのパチンコがあり、20兆円規模です。すでにギャンブル依存症が大きな問題になっているわけです。これは、病氣として社会的に対策を立てなければいけない位置づけです。厚生労働省の資料ですけど、ギャンブル依存症に陥っている人が成年男性の9.6%、女性は1.6%、推計560万人という大変ショッキングな数字になります。厚生労働省として、このギャンブル依存症対策として今何か対策を取られておりますか。

### 政府参考人

現在では必要な治療を受けられていないという現状があります。必要な環境を整備することが喫緊の課題と認識しております。

### 大門議員

警察庁はどうなんですか、このギャンブル依存症の大半はパチンコが原因だということは認識されているんでしょうか。

### 政府参考人

ギャンブル依存症と言われるものの中にパチンコに対するのめり込みというものが存在することは了解しております。

### 大門議員

のめり込みという言い方イコール依存症のことですよ。こういうことが放置されたままカジノをつくるというのは何なんだということでもあります。誰がこれを必死でやっているか、パチンコ、パチスロ機器メーカー、PFI関連業者、大手ゼネコンとかなんです。この推進に力を貸してくれと議員連盟ができたわけです。